



おめでどう武田弘子さん

延岡市文化功労者にぎやかに祝賀会

今年度の延岡市文化功労者(学芸文化部門)を受けた延岡市南一ヶ岡、武田弘子さん(78)の受賞祝賀会が3日、同市祇園町のキャトルセンマツイであり、活動を共にしてきた人、友人ら多数の人が駆け付けて受賞を祝った。武田さんは、このような最高の賞をいただいたのは、支えてくださった皆さまのおかげ」と感謝の言葉を述べた。花柳慶次松さんの祝舞「大和楽」で開会。発起人を代表して市文化連盟理事の池田見一さんが「誠実で何事も積極的、かつ率先垂範」1月1日に79歳になられますが、生涯現役を貫いてますますのご健闘をお祈りします」とあいさつした。

夫幸二さん(83)とステージに上がった武田さん夫妻を前に来賓祝辞。読谷山洋司延岡市長は友禅作家としての実績、文化功労の枠にとらわれず活動する姿を紹介し、谷平興二市観光協会代表理事

は、「一言でいえば何事にも一生懸命な人。武田さんの一生懸命は恐ろしいほど。目標を決めたら、狙いを定めたらやり遂げるまで頑張る人。年齢を考えたらそのスーパースターは本当にすごい」とユーモアいっぱい祝福した。花束贈呈では友禅染の弟子、生徒を代表して白瀬叔子さんが大きな花束を贈った。受け取った武田さんは受賞は皆さんのおかげとあいさつ。その中で、コノハナロード延岡市民応援隊コットンプロジェクトは県の女性チャレンジ賞を受けたのをきっかけに結成したと振り返った。

現在は収穫した綿、種を全国にプレゼントする活動を展開中で、昨年は早くも北海道から台湾にまで行き届いた「ゆくゆくはこの綿が、世界中に広がり、製品となっていくことを願いつつ、宇宙や友禅染に関することにますますチャレンジしていきたくと思っています」と今後の決意まで述べ、大きな拍手に包まれた。

吉田敏春延岡市市長連絡協議会会長の首頭で乾杯。幅の広い人脈を持つ武田さんらしく、ハーモニカ、クラリネット、カヲケなど演奏や歌が盛り上がり。最後は町田訓久市文化連盟会長の三本締めて締めくくったが、武田さんの人柄を反映して最後まで笑顔が広がるお祝いの会となった。武田さんは、武田友禅教室を主宰。友禅染作品で県美術展覧会大賞を1回、市美術展覧会特選を3回受賞し無鑑査。このほか、日本宇宙少年団延岡分団の副分団長。ベンベルク発祥の地・延岡をPRするため、旭化成から取り寄せた綿花の種子を五ヶ瀬川堤防に植える「コットンロードプロジェクト」など、現在23の団体に所属し、地域貢献活動を続けている。